

# F1王者へ 税逃れの提案書

パラダイス  
paradise papers  
文書  
ICJ・南ドイツ  
新聞提携

「アップルビー」がハミルトン選手側に送った提案書



者、ルイス・ハミルトン選手

に向けた提案書だ。全カテゴリーの8ページ。表紙には、ジェット機の外観写真があしらわれている。「タックスヘイブ（租税回避地）に拠点を知識豊富な法律専門家。自らの強みを誇る言葉が並ぶ。

世界に展開する12の拠点多列挙されている。

英領バミューダ諸島、ケイマン諸島、マン島……。

多くが、タックスヘイブとして知られる場所だ。

表紙の真ん中にはキャッチコピーが記されていた。

「適材適所 優れたコネクション」

提案は、露骨だった。「我々の専門家と一緒に適切な手順を踏めば、税を払う必要がなくなります」

提案に従ったF1王者は、付加価値税（消費税）330万ポンド（4・6億円）

全額を還付で取り戻した。メールを送ったのは法律事務所「アップルビー」。

国際調査報道ジャーナリスト連合（ICIJ）が世界のメディアと連携して取材を進めた「パラダイス文書」の主な流出元だ。

世界中の富裕層が、税の支払いをいかに逃れているかを暴露したパラダイス文書。流出した電子ファイルは約1340万件に上る。

ハミルトン選手への提案書はその一片にすぎない。

7面に続く

「優れたコネクションを持つことが重要です」

強気の売り文句で始まる提案書が添付されたメールが、富裕層向けの資産管理会社に届いた。2013年1月のことだ。

「御社の顧客がチャレンジャー605を購入したと聞きました」

高級ジェット機を2680万ポンド（当時20億円）で購入したばかりのF1世界王者